



## 大雨災害から、命を守るために必要な情報、知っていますか？ 「避難指示」、「キキクル」、「線状降水帯」・・・

梅雨の時期になりました。これまで自治体が避難情報として発令した避難勧告が「避難指示」に一元化されたことや、災害発生の危険度の高まりを示す「キキクル（危険度分布）」、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし組織化して強い降水をともなう「線状降水帯」などは、大雨による災害に備えて、命を守るためにぜひ知ってほしい情報です。これらは、気象庁や各自治体等から、発表（発令）されますが、その情報の意味や、情報を得る方法を事前に把握し、対策を講じておくことが重要です。

気象庁では、大雨による災害に備え、災害から命を守るために収集すべき情報は何か、どういったところに、どのようなタイミングで避難したらよいかなど、参考とすべき内容がわかりやすく映像化されておりますので、以下に紹介します。アドレス（又はQRコード）からアクセスしてください。

管理職や防災主任だけでなく、多くの先生方の災害対応スキルの向上にもお役立てください。

### ☆☆全ての先生方に、ぜひ、視聴いただきたい教材☆☆

## 気象庁「大雨の時にどう逃げる」あなたの命、 あなたの大切な人の命を守るeラーニング教材

eラーニング教材掲載先アドレス <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>

↓ 避難に関する知識が個別に解説されています ↓

大雨の時にどう逃げる 避難のポイント「災害リスク」編 あなたの家の災害リスクを考えよう <a href="https://www.youtube.com/watch?v=geBJrCOn01w&amp;t=5s">https://www.youtube.com/watch?v=geBJrCOn01w&amp;t=5s</a>		
大雨の時にどう逃げる 避難のポイント「避難先」編 あなたの家の災害リスクを考えよう <a href="https://www.youtube.com/watch?v=4R8tLSxcEvk&amp;t=4s">https://www.youtube.com/watch?v=4R8tLSxcEvk&amp;t=4s</a>		
大雨の時にどう逃げる 避難のポイント「避難行動」編 あなたの避難行動を考えよう <a href="https://www.youtube.com/watch?v=1cLgj3yqyH4">https://www.youtube.com/watch?v=1cLgj3yqyH4</a>		
大雨の時にどう逃げる 避難のポイント「避難のタイミング」編 あなたの避難行動を考えよう <a href="https://www.youtube.com/watch?v=TyF9gPhTMI">https://www.youtube.com/watch?v=TyF9gPhTMI</a>		

### 【災害に備え確認しておくべきホームページ】

- 「線状降水帯」はここから確認できます
  - ・気象庁から「顕著な大雨に関する情報」として発表されます。
- 気象庁「キキクル（危険度分布）」アドレス

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/zoom:9/lat:38.391186/lon:140.973816/colordepth:normal>



# 地域と連携した学校安全の推進に向けた取組紹介

## 「仙台圏域安全教育総合推進ネットワーク会議」が開催されました

「令和3年度学校安全推進のための重点取組事項」等を踏まえ、仙台圏域において、学校安全の3領域（災害安全・交通安全・生活安全）の推進が図れるよう、地域ごとの課題や方策等について協議し、学校と地域の連携した取組の円滑化や、関係機関相互の情報共有を目的に、以下のとおり実施された。

- 1 期 日 6月7日（月）
- 2 会 場 仙台合同庁舎
- 3 参加者 仙台教育事務所管内の各市町村防災担当部局・各消防本部・各警察署・各教育委員会の担当者、安全担当主幹教諭
- 4 内 容 「家庭、地域、関係機関と連携した学校安全の推進」について、地域ごと6グループに分かれ、各学校の課題や地域連携のあり方等が協議され、学校や市町村の担当者が変わっても連携が取れる体制づくりや、不審者情報の共有の必要性などについて意見が交換された。
- 5 参加者の感想（アンケートより一部抜粋）
  - 市町村防災部局担当者からは、地域の学校における生の声として聞くことができ、今後の業務における課題が明らかになった。
  - 教育機関と行政が情報共有を図ることで、顔の見える関係づくりにつながるため有益であった。

※他の圏域（大河原，北部，東部，気仙沼）についても、実施後紹介いたします。

# 学校と地域が連携した防災訓練の取組紹介

県立学校による地域と連携した防災訓練を実施した取組を紹介します。蔵王高等学校の取組は、県教委の「学校防災アドバイザー派遣」を活用して実施されたものです。

## 【宮城県蔵王高等学校】

蔵王町の防災部局担当者を「学校防災アドバイザー」として招き、地域の災害特性である蔵王山の噴火を想定した避難訓練、地域特有の災害について講話を実施しました。

「融雪型火山泥流」の発生を想定し、第2体育館2階への垂直避難を実施しました。学校防災

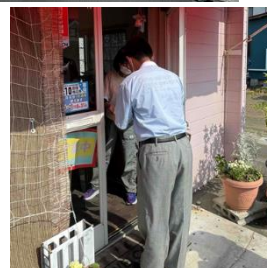
アドバイザーからは、訓練の講評と、噴火時の災害対策や地域貢献に係る講話をいただきました。



避難訓練前にも「学校防災アドバイザー」に噴火時の被害状況や対応について助言いただきました。

## 【宮城県一迫商業高等学校】

大規模災害の発生に備え、地域住民参加による避難訓練を実施しました。地震及び校舎の火災を想定した訓練後、防災活動を通じた地域連携につなげるため、生徒が近隣家庭に減災チェックシートを配付して防災について呼びかけるとともに、高校生の視点から見た地域の危険箇所調査を行いました。



危険箇所調査の結果に基づき、今後、生徒が作成した地域のハザードマップを住民に提供する予定としています。